

4. トラブルとその対応事例

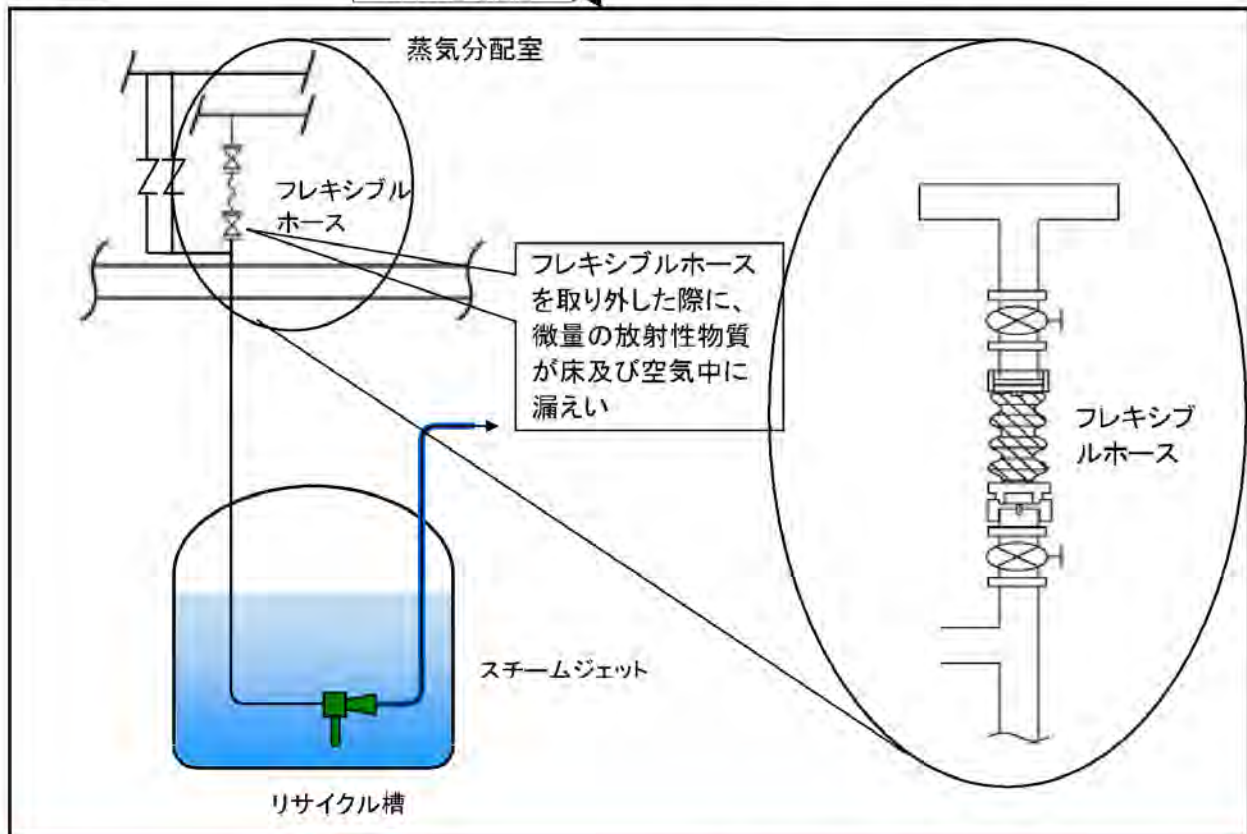
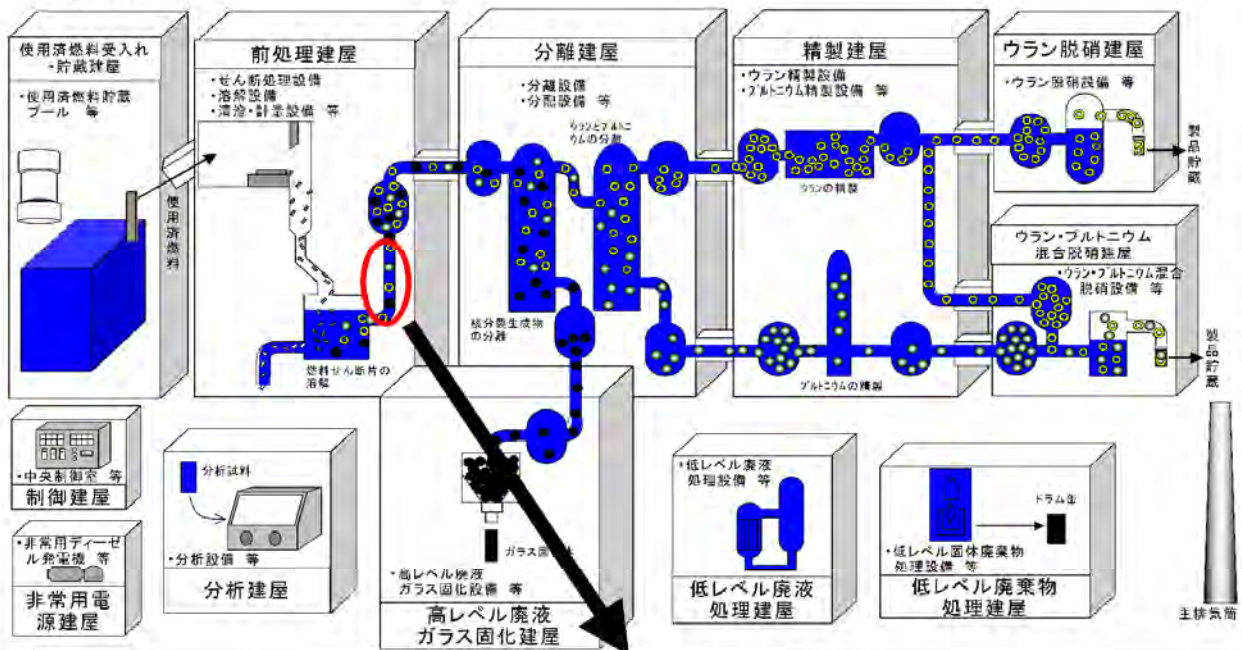
4 – 1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (f . 汚染)

6-02. スチームジェット蒸気供給系フレキシブルホースの取り外し作業時における汚染																	
事象の概要																	
(1)発生場所：機器		前処理建屋：蒸気配管フレキシブルホース															
(2)設備の概要		清澄機に付着した不溶解残渣を洗浄した洗浄液を受け入れるリサイクル槽にスチームジェット駆動用の蒸気を供給するための着脱式のホース。															
(3)発生の状況		運転中															
(4)概要		清澄・計量設備のリサイクル槽の溶液移送用スチームジェットを作動した後、管理区域に設置されている蒸気供給系のフレキシブルホースを取り外した際に、微量の放射性物質が床および空気中に漏えい。当該エリアの複数箇所で管理の基準値を超える床汚染が発生したものの、簡易な除染措置により汚染を除去。 *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。															
(5)原因		使用時以外にフレキシブルホースをリサイクル槽側の配管へ接続し、手動弁を開のままにしていたため、フレキシブルホース内に微量の放射性物質が混入。															
事象による影響																	
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋換気設備が稼働している建屋内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。															
(2)安全性への影響		安全上の問題は生じない。 管理区域内での汚染であるため、サーベイメータ等で汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。															
(3)作業員への影響		作業員への影響は生じない。 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。															
(4)他工程への影響		他工程への影響は生じない。 他工程への影響は生じない。ただし、汚染の除去に時間を要する場合は、当該スチームジェット蒸気供給配管につながる設備の運転に影響が生じる。															
対応の概要		1.汚染区域を設定し、一時的に人の立ち入りを制限する。 2.スチームジェット蒸気供給系配管内の汚染が原因で汚染が生じたことを確認する。 3.スチームジェット蒸気供給配管および周辺の汚染状況を確認、把握した後、復旧作業計画（手順）など確認の上、汚染除去の後、定常運転系統へ復旧させて運転を再開させる。															
公表区分		翌平日に公表（ホームページへ掲載）															
連絡区分*		<table><tr><td colspan="3">トラブル情報</td><td colspan="3">運転情報</td></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>				トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

定められた操作手順に従い復旧操作をして復旧するとともに汚染エリアを除染

トラブル等に伴う設備への影響範囲

当該設備を停止して復旧

